

議会だより

令和5年 夏号 Vol.133

桑折町民約11,000人がくらす

「みんなが幸せを実感できる
元気なまち ごおり」を目指し
議会の役割を果たす

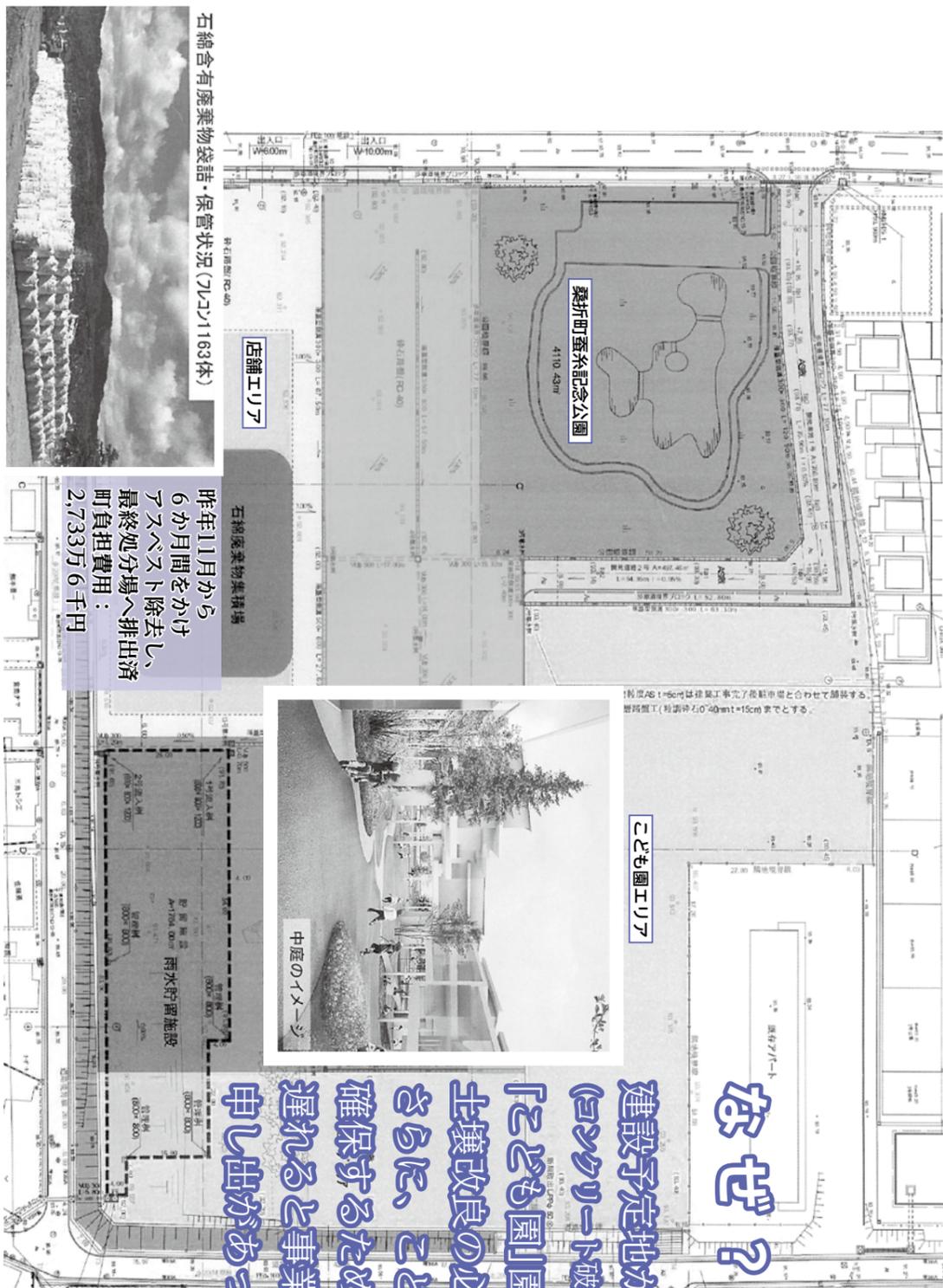
桑折町役場

蚕糸跡地

6月定例会	3
契約締結(追認)	6
またも議会軽視か 4月連絡あったのに… (一般質問 9名登壇)	11
議会報告・意見交換会	22



「認定こども園」開園が1年のびた



なぜ？

建設予定地から地下埋設物が出た(コンクリート破片、がれき等)「こども園」園舎の構造上、土壌改良の必要性が生じた。さらに、こどもたちの安全性を確保するため、工期が約7か月遅れると事業者から申し出があったため。

※他に2件の改正があった。議案名は議案審議結果表P.9をご覧ください。

規約変更

◆**県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び県市町村総合事務組合規約の一部変更する規約**

変更の内容

田村広域行政組合が令和5年3月31日で解散したことに伴い、構成団体数の減少、組合規約の変更について、県知事の許可を受けるにあたり各市町村議会の議決を得なければならない。

討論

反対1 賛成9

反対 齋藤 松夫 議員

低家賃の町営住宅を引き続いて利用していきたいという町民の要求は厳然として存在する。町政はこの要求がある限り応えるべきだ。古くなったから壊すというのでなく、住宅・補修改良予算を計上し、利用者の要求に応じていくことを強く求める。また団地内及び周辺住宅環境維持のためにもそれが必要である。よって町営住宅戸数減少につながる条例改正(案)には反対である。

承認

専決処分
処分日 令和5年4月25日

補正予算

◆**介護保険特別会計(保険事業勘定)(第1号)**

歳入歳出予算の総額にそれぞれ51万1千円を追加し予算総額を17億1,477万4千円とするもの。

「歳入」

・繰越金 51万1千円

「歳出」

・償還金及び還付加算金 51万1千円

条例改正

◆**制度の維持はきびしい状況**
◆**町国民健康保険税条例の一部改正**

改正の内容

団塊の世代が後期高齢者医療制度に移ることで被保険者数が減少。加えて一人当たりの医療費は増加傾向にある。国保制度を維持するため均等割300円、平等割600円を引き上げる。

討論

反対1 賛成9

反対 齋藤 松夫 議員

なお、低所得者の負担増を避けるため賦課割合は据え置いた。

現行制度のもとで予算編成や条例改正がこうなることは理解する。同時に物価高騰のなか、平等割、均等割負担引き上げで約2,000万円の負担増となる。特に子どもへの均等割課税は人頭割という前近代的な課税方式である。暮らしを守るための国保増税ストップ、子どもへの均等割課税廃止を求める立場から反対の態度をとる。

戸数を6戸減にする

◆**町営住宅条例の一部改正**

それぞれに68年以上と老朽化しており、修繕をしても入居が困難なため、退居後は取り壊す。(下の表)

町営住宅条例の一部改正

町営住宅団地名	現在の戸数	改正後の戸数
西大隅団地	9戸	8戸
寺坂団地	6戸	4戸
坂下団地	59戸	56戸



町長より提案理由が

審議採決

承認1件、条例改正4件、規約変更1件、契約5件、補正予算2件、報告3件、同意10件、陳情4件、議会提出 規則改正1件、条例制定1件

6月定例会

会期：6月13日～19日(7日間)

補正予算

蚕糸跡地からの地下埋設物を除去

◆一般会計(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億2,803万7千円を追加し、予算総額を62億8,902万9千円とするもの。

《主な歳入》

- 新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 660万3千円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金 983万7千円
- 公共施設維持管理基金繰入金 2,819万3千円
- 伊達桑折IC周辺インフラ整備基金繰入金 4,260万5千円
- 前年度繰越金 2,811万1千円

《主な歳出》

- 新型コロナウイルス感染症予防事業費 1,594万1千円
- 秋開始接種関連費、5歳以上2回目接種完了者 2,900人を想定)

討論

反対2 賛成8

反対 齋藤 松夫 議員

○商工振興対策費 2,733万6千円 (福島蚕糸跡地アスベスト含有廃棄物処理負担金)

質疑

・取り交わした約束事との整合性、搬出に関わった業者、搬出先、折半負担の理由等の質疑があった

質疑

・開発に伴う歳入の試算、基金増に対する考え、事業が確定後では遅いのか等の質疑があった。

反対 川名 静子 議員

・更新の理由、授業への支障等の質疑があった。

福島蚕糸跡地アスベスト含有廃棄物処理負担金に対し大変悩んだが賛成はできないと判断した。町有地である蚕糸跡地から地下埋設物が確認され除去することに賛成できない訳ではないが、令和3年8月に確認された後、議会への説明は翌年の1月、しかも「いちいち折半負担」の協議が固まってからだ。議会軽視どころか議会はカヤの外、係る費用は町民からの税金だ。町民が納得する説明はできない。法令を遵守しお互いの信頼関係を損なう進め方に賛成できない。

◆国民健康保険特別会計(事業勘定)(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ648万9千円を追加し、予算総額を13億4,359万9千円とするもの。

《歳入》

- 国民健康保険税 ▲2,400万円
- 繰越金 3,048万9千円

《主な歳出》

- 医療給付分 115万7千円
- 後期高齢者支援金等分 ▲46万1千円
- 介護納付金分 69万3千円
- 基金積立金 500万円

討論

反対1 賛成9

反対 齋藤 松夫 議員

先の国民健康保険税条例の一部改正で行った反対討論と同一の理由で反対する。

陳情 審査結果

請願・陳情とは

町民のみなさんの意見や要望等を町政へ反映させる制度です。※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせ下さい。(電話582-2113)

庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

(陳情者) 福島市野田町字八郎内 57-8 代表 嶋原 隆 (審査委員会) 総務文教常任委員会 (審査結果) 継続審査 (次ページに続く)

議会提出

会議規則の改正

町民が理解しやすい一般質問にインターネットで一般質問を視聴している方が途中から見てもより理解しやすい方法として全面的に一問一答制を取り入れることとしたための改正。

条例制定

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例

町との請負が年間300万円を超えなければ議員の兼業を容認するとした地方自治法の改正(令和4年12月)があり、請負があった場合に公正性・透明性を確保するために公表するもの。毎年6月に前年度の請負状況を公表する。現時点で対象となる議員はいない。

同意

町農業委員会委員一覧

氏名	年齢	地区	推薦・応募の別	備考	新・再の別
寺島 智史	42	半田	推薦	認定農業者	新
山家 修	75	半田	推薦	認定農業者に準じるもの	新
高橋 貢	72	半田	応募	非農家	再
菅野 昭一	63	睦合	推薦	農家	新
佐藤 徳雄	73	桑折	応募	認定農業者	再
大泉 忠志	49	伊達崎	推薦	認定農業者	新
佐藤 孝	61	睦合	推薦	農家	新
浅野 国英	66	睦合	応募	認定農業者	再
蓬田 浩幸	59	伊達崎	推薦	認定農業者	再
佐藤 親	56	伊達崎	推薦	認定農業者	再

日本労働組合総連合会福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一 (審査結果) 採択(意見書提出)

(審査委員会) 総務文教常任委員会 (審査結果) 採択(意見書提出)

任期 令和5年7月20日から3年間

地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情

(陳情者) 伊達郡川俣町大字鶴沢字上沖免4番地の2

契約締結（追認）

追認とは、過去に遡ってその事実を認めること。議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条（財産の取得又は処分は、予定価格700万円以上の）（令和元年から四年間未議決のまま執行していた。）

どこに問題があったのか

決算を認めた議会にも責任が

議案番号	議案第30号	議案第31号	議案第32号	議案第33号
契約締結日	令和元年6月5日	令和2年7月13日	令和3年6月8日	令和4年6月16日
1 買入物件及び数量	学校給食センター調理設備 ・真空冷却機 1台	学校給食センター調理設備 ・ガススチームコンベクションオープン 2台	学校給食センター調理設備 ・スプーン洗浄機付 浸漬装置 1台	学校給食センター調理設備 ・自動フライヤー 1台
2 設置場所	学校給食センター調理室	学校給食センター調理室	学校給食センター洗浄室	学校給食センター調理室
3 物品概要	野菜類の加熱処理後に急速冷却処理する機器	「焼物機」と「蒸し機」が一体化した調理機器	スプーン及び食器類のコンベア式漬け置き洗浄機器	「揚げ物」に使用する調理機器
4 契約方法	随意契約 ※	随意契約	随意契約	指名競争入札
5 見積執行	令和元年6月4日 午前9時	令和2年7月10日 午後1時	令和3年6月7日 午前9時	入札執行 令和4年6月15日
6 予定価格	11,664,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 864,000円)	10,890,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 990,000円)	10,586,400円 (うち消費税及び地方消費税の額 962,400円)	7,370,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 670,000円)
7 見積徴収業者	2社	2社	2社	入札参加業者 5社 ※入札辞退：1社
8 契約相手方	住所 福島市郷野目字宝来町17-3 氏名 株式会社中西製作所福島営業所 所長 赤津 克志	住所 福島市郷野目字宝来町17-3 氏名 株式会社中西製作所福島営業所 所長 赤津 克志	住所 福島市郷野目字宝来町17-3 氏名 株式会社中西製作所福島営業所 所長 赤津 克志	住所 福島市郷野目字宝来町17-3 氏名 株式会社中西製作所福島営業所 所長 赤津 克志
9 契約金額	11,448,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 848,000円) 【落札率 98.1%】	10,670,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 970,000円) 【落札率 98.0%】	10,395,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 945,000円) 【落札率 98.2%】	7,315,000円 (うち消費税及び地方消費税の額 665,000円) 【落札率 99.3%】
10 納入期限	令和元年8月19日	令和2年8月17日	令和3年8月20日	令和4年8月22日

財産の取得

議案第34号
令和5年度分
学校給食センター
調理設備

- 1, 買入物件及び数量
 - 2, 食缶類洗浄機 1台
 - 3, 契約の方法
指名競争入札
 - 4, 予定価格
1, 562万円
(うち消費税及び地方消費税の額 142万円)
 - 5, 入札参加業者 5社
 - 6, 契約相手方
住所 福島市郷野目字宝来町17-3
氏名 株式会社中西製作所福島営業所
所長 赤津 克志
 - 7, 契約金額
1, 529万円
(うち消費税及び地方消費税の額 139万円)
- 【落札率 97.9%】
全会一致で決

賛成

討論

反対

齋藤松夫議員	議決案件を議会に提出せず、財産の取得をすすめたことは重大問題だ。しかもそれが4年間の長期に及んだことからすれば、なおさらである。町長は政治責任を明確にしたうえで、追認議案を提出すべきであった。それがないままの追認議案を認めるわけにはいかず、反対の態度をとる。再発防止のために必要なことは、①議会軽視の政治姿勢をあらためること。②財務規則に則った事務を進めること。③法令遵守徹底のため「コンプライアンス条例」の制定を図ることである。	原 賢志議員	財産の取得については、買入物件、数量共に計画的に更新していく物件であり、契約の相手方、契約の方法、買入金額に問題はないと認識している。追認については、初歩的誤りにもかかわらず、議会に付すべき議決案件の提出を怠った。今後は、今回の件を教訓に再発防止策だけでなく全職員がしっかりとした事務を行うことを願い討論とする。
川名静子議員	「法令遵守」を欠いた事案だ。町長自らの責任も明確にしていない。議案を出すまで関係する方々の処分も明確になされていない。この議案が可決された後に懲罰委員会開催の有無が判断される。処分が軽くとも分からないし防止策も活きない。町民から信頼される町、執行部であって欲しいと願う。しっかりと対応がないままでは、町民に説明が出来ないことから反対する。	岡本貴士議員	財産取得の内容に問題はない、追認する。一方で、条例違反した形で財産取得が行われたことは残念である。議会は取得期の決算を認定しており、審議が不十分であった。一議員として町民にお詫びしたい。他の議員から関係者への懲罰について話が出ているが、熟慮すべきである。町職員が畏縮しては、町民の福祉向上には繋がらない。今後の取り組みで、町民の信頼を取り戻してほしい。
齋藤松夫議員	反対の理由は先ほど述べた通りだ。補足することは町長の責任問題だ。議会への議案提出まで、自らの責任を明確にするまでに至らなかったことが問題だ。上意下達主義で意見が言えないような環境を作ってしまった。部下の意見に耳を傾け、受け入れる度量が必要だ。	原 賢志議員	財産の取得については、買入物件、数量共に適当であり、契約の相手方、契約の方法、買入金額に問題はない。追認については、初歩的誤りにもかかわらず、議会に付すべき議決案件の提出を怠った。今後は、今回の件を教訓に再発防止策だけでなく全職員がしっかりとした事務を行うと共に、今回は前例踏襲が働いたのではないかと。その点も併せて今後しっかりと認識して事務にあたるよう求め討論とする。
川名静子議員	第30号と反対理由は同じだ。町民が納得する処分の仕方を望む。	石幡政子議員	給食センターの備品購入については、その年度の当初予算に計上されており、所管別で詳しい説明がなされていた。契約が伴う案件であったが議会の承認を得ることが欠落してしまったことで今回追認議案として提出された。が、議会としても予算を承認していることを考えると、議会にも責任がないとは言えないのではないかと。そのことから賛成するものである。
齋藤松夫議員	これまで述べてきた理由をして反対する。	羽根田ひとみ議員	大変重大なことなので、関係者は十分反省していると思う。今後、再発防止のためにも、基本的な「誰が・どこまで・何を」すべきか責任の所在を明確にして、業務の見える化を再認識して頂きたい。私共はチェック機能の義務を果たしていく。今回は町にとり必要なものであったため賛成する。
川名静子議員	第30号と反対理由は同じ。	鈴木隆志議員	本財産取得について、契約に至る前までの事務手続きは適正に行われたものと考えている。今回の追認は、議会決議を経ないで契約に至り物品購入したことにある。事案発覚後、議会に対し議会開催前に説明があり、5月23日付け文書で職員全員に対し注意喚起して再発防止に努めている。また、懲罰について、今後協議し、責任を明確にするとのことである。今後、再発防止に努めると共に適正な懲罰として頂くことを申し添え賛成とする。
齋藤松夫議員	反対の理由はこれまで述べてきた通りだ。加えて、このような重大な問題が発覚した今日に至っても、コンプライアンス条例の制定は考えていない。行政組織規則の見直しも行わない。これらの答弁に対する評価は再びコンプライアンス欠如の事務執行が生まれるのではないかと判断だ。誠に遺憾の極みだ。		
川名静子議員	ミスはミスとしてしっかりと質していくことが前に進むためにも私の仕事と思う。これまでの決算を認めてきた議会にも責任の一端があると私も思っている。議会として、議員として責任を取るのであれば言葉だけではないはずだ。追認事項4件に対してそれぞれに責任が伴う。町民が納得し、信頼される役場にするためにも、町民に説明をすることがお詫びの第一段階と考え反対する。		



町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人桑折町振興公社

事業の概要

地域づくり、地場産業の振興に関し調査研究並びに開発を推進し、町振興発展に寄与することを目的に事業を展開している。

4年度はコロナウイルス感染症に加え、物価高騰の影響を大きく受けたが

- ・6次化商品の認知向上から地域振興への寄与拡大
- ・農業振興活動拠点施設の効果的な運営管理の実現
- ・地域農業の振興・発展の実現

を進化(深化)させ、桑折ならではの地域活性化の推進に向け、各種事業の効果的な実施を図った。

5年度においても町等との連携の下、各種事業の効果的な実施を図っていく。

◆地域振興事業

- ・6次化商品開発事業
 - 献上桃の郷の地域ブランド強化、公社経営基盤の強化に向け6次化商品の販路開拓・拡大へ取り組んだ。

原材料費等の上昇から一部商品の値上げを行い収益確保に努めた。

また、至福の桃シリーズ第4弾となる新商品「至福の桃キャンディー」の開発を進め、5年4月からテスト販売を開始した。

「至福の桃グミ」が民間放送のグミランキングで一位を獲得したことから、さらに新規販路開拓、商談強化による取引先の拡大を図る。

◆農業振興活動拠点施設管理運営事業

「レガールこおり」施設コンセプトの機能・役割、特に交流拠点として「集う」「学ぶ」の具現化を目指し伊達崎マルシェを10回開催。食育食農体験事業、食材提供とするブランド野菜を生産するレガールファーム事業等を実施した。5年度においても「レガールこおり管理運営事業」「ピザスタ運営事業」を実施していく。

臨時会

第2回 4/19

国の原油価格・物価高騰対策関連事業へ

補正予算

一般会計(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、6,839万2千円を追加し、予算総額を61億6,099万2千円とするもの。

(主な歳入)

- ・子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金(低所得子育て世帯に対し特別給付金) 450万円
- ・地方創生臨時交付金(電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援) 6,231万1千円

(歳出)

- ・社会福祉総務一般費(福祉施設等電力・ガス等価格高騰対策) 760万円
- ・住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業(物価高騰支援)

自治功労者表彰

おめでとうございます。

去る6月5日福島県町村議会議長会定期総会において、町議会議員20年在籍者2名が自治功労者として表彰された。



原 賢志議員 半澤 高議員

同日、桑折町議会は優良町議会として表彰された。

議案審議結果表

○全会一致で可決の議案 令和5年第2回臨時会(令和5年4月19日)

議案名	討論者
議案第24号 令和5年度桑折町一般会計補正予算(第1号)	

○令和5年第3回定例会(令和5年6月13日~6月19日) 賛否の分かれた議案

議案名	議員名	羽根ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	齋藤松夫	佐藤武朗	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
議案第27号 桑折町国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	可決
議案第28号 桑折町町営住宅条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	可決
議案第30号 財産の取得について(追認)		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第31号 財産の取得について(追認)		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第32号 財産の取得について(追認)		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第33号 財産の取得について(追認)		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第35号 令和5年度桑折町一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	-	可決
議案第36号 令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	-	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて		同意第7号 桑折町農業委員会委員の任命について	
議案第25号 桑折町税条例の一部を改正する条例		同意第8号 桑折町農業委員会委員の任命について	
議案第26号 東日本大震災による被災者に対する町民税、固定資産税及び国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例		同意第9号 桑折町農業委員会委員の任命について	
議案第29号 福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福島県市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約について		同意第10号 桑折町農業委員会委員の任命について	
議案第34号 財産の取得について		同意第11号 桑折町農業委員会委員の任命について	
報告第1号 令和4年度桑折町繰越明許費繰越計算書について		発委第5号 桑折町議会会議規則の一部を改正する規則	
報告第2号 町が出資を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について		発委第6号 桑折町議会議員の請負の状況の公表に関する条例	
報告第3号 町が出資を出資している法人の経営状況等を説明する資料の提出について		発委第7号 「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書(案)	
同意第2号 桑折町農業委員会委員の任命について		発委第8号 地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	
同意第3号 桑折町農業委員会委員の任命について			
同意第4号 桑折町農業委員会委員の任命について			
同意第5号 桑折町農業委員会委員の任命について			
同意第6号 桑折町農業委員会委員の任命について			

※報告は採決なし

土地開発公社桑折町事務所

事業の概況

令和4年度は公共用地等の取得事業や処分事業等は実施してない。

なお、平成19年度において工業団地売却により損失が生じたが、町からの補償により借入金の返済を実施している。

損益計算書

単位：円

項目	令和3年度	令和4年度
1 事業収益		
(1)公有地取得事業収益		
2 事業原価		
事業総利益		
3 販売費及び一般管理費	8,116	8,132
事業損失	8,025	8,020
事業外収益	91	112
4 (1)受取利息	91	112
(2)雑収益	0	0
5 事業外費用		
(1)支払利息	0	0
経常損失	8,025	8,020
特別損失	0	0
6 当期純利益	8,025	8,020
当期損失	8,025	8,020



-119番対応が休みなく-

議会議員行政視察

伊達地方消防組合消防本部

伊達地方消防組合消防本部に於いて、町議会議員行政視察を行った。

消防本部総務課長より、火災発生件数とその原因、救急車の出動件数と出動状況の説明を受け質疑した。総務課主幹からは桑折町に建設中の西分署改築工事概要の説明があった。

その後、消防指令センターに移動して警防課主幹から本部ネットワークシステム、119番受付から現場到着までの流れを聞いた。現場視察、質疑応答により、消防組合について一層理解を深めることができた。

町政を問う 60分

一般質問

詳しくはこちらから



- ◆議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◆内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◆質問項目は、通告によるものです。
- ◆議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。

登壇議員	質問事項
川名 静子 議員 (P11)	① 地球温暖化がもたらす気候変動への対策は待ったなしだ。町民みなが取組むべき課題であり実現可能な取組目標について ② 「認定こども園」に関する事務手続き等の進捗状況を町民にも明らかにすべきではないか ③ 町地域福祉計画は何のために作られた計画なのか、町民に知らせる事から始まるのではないか ④ 「男女共同参画週間」が始まる。キャッチフレーズは「なくそう思い込み、守ろう個性みんなでつくる、みんなの未来」だ。第3次プランの概要版は配布して終わりではない。この週間を利用し何を周知する計画か。
鈴木 隆志 議員 (P12)	① 献上桃の生産維持と消費者獲得に向けた取り組みについて ② 地域おこし協力隊による献上桃の産地維持、継承に向けた取り組みについて ③ 地域おこし協力隊の新規就農にあたってのサポート体制について ④ 幼保連携認定こども園開園に向けての対応について ⑤ 幼保連携認定こども園募集に対する対象保護者説明会の開催について
岡本 貴士 議員 (P13)	① 6月から家庭向け電気料金が25.47%値上げされる。一方、国の支援(電気・ガス料金2割程度の値引き)は9月分で終了予定である。各市町村では、6月1日より町民支援を行うと報道されている。電気代を抑える省エネ家電の購入費補助(最大3万円)や、事業主支援金支給(最大50万円)などである。本町では、どのような取り組みを行うものかについて伺う。
羽根田 ひとみ 議員 (P14)	① 地域防災力とコミュニティについて ② 中学校部活動の地域移行計画について ③ ゴミ分別のためシステム見直しを ④ 公衆トイレのあり方について ⑤ ドッグラン実証実験の結果をふまえて
佐藤 武朗 議員 (P15)	① 「全国山城サミット桑折大会」以降の「史跡桑折西山城跡」の今後の展開について ② 「ピーチリパーク157」周辺の管理運営について ③ 福島蚕糸跡地の事業の進捗状況について ④ コロナ禍後の町内会運営に関する行政の係わりについて
齋藤 松夫 議員 (P16)	① 「非核平和の町宣言」の具現化について ② 認定こども園の許可申請と蚕糸跡地利活用プロポーザル公募を経ての事業者決定について ③ 同プロポーザル公募実施要領と定期借地権設定契約について ④ 「桑折町コンプライアンス条例(仮称)」制定を提言する。その必要性への所見について
石幡 政子 議員 (P17)	① 新型コロナウイルス感染症の感染症法上5類移行による社会の変革について ② 本町における男女共同参画社会の推進について ③ SDGsの再生可能エネルギー導入の取り組みについて ④ 学校教育における児童生徒の減少による環境の充実について
半澤 高 議員 (P18)	① 町役場窓口サービス向上と『書かないワンストップ窓口』の設置について伺う。 ② 旧郡役所周辺の開発・整備についての現状を伺う ③ 部活動の地域移行についてどこまで議論が進んでいるのか伺う
原 賢志 議員 (P19)	① 蚕糸跡地の利活用について ② 種徳美術館の収蔵品活用について ③ 住民自治協議会の今後について

またも議会軽視か 4月連絡あったのに説明が遅れた、お詫びする



川名 静子 議員



—「認定こども園」建設予定地、いつ始まる—

驚きました。事務手続きは「凍結」工期が7か月遅れる。定例会初日に聞かされた。なぜ議会への報告が遅くなるのか。開園予定は令和6年4月、一年延期になる事であらゆる面に影響が出る。今回の質問は開園まで一年を切った中で内容を確認する質問を通告したため、変更になった部分を重点的に質問をする。

答 町長 認定こども園事業については、事業者である社会福祉法人松葉福祉会から、今年度に入り建設予定地に多量の地下埋設物が確認されたことから、建物の構造上、さらには、子供たちの安全確保のため土壌改良の必要性が生じ、工期が約7か月遅れるとの申し出があった。町としては誠に遺憾であり、事業を進める上で重大かつ深刻な事態と受け止め、現在、諸手続きを凍結している。

これも質問

問 汚物ゴミがリサイクルで燃料になるのだが

答 リサイクルも有効な手立てとし調査研究する

問 男女共同参画週間には何に取り組むか

答 職場での意識改革が重要な事から直接訪問する

問 開園する、しないに関わらず、保護者へ説明は必要。13日付で開園を一年延期する文書が配布されたようだが、工期が遅れると町へ連絡が入ったのはいつか。

答 教育長 まだ作成する段階ではないと事業者から聞いている。

地域福祉計画は、何のための計画か

地域課題への取組に反映させる

地域住民、関係団体等との協働で、地域における様々な地域課題を解決するための仕組みや方向性を示すものとして策定されたが、浸透していない。勿体ない。

問 町民と共有する具体的な策は。

答 町長 関連する個別計画を多様な主体との連携を図り相互の理解と協力の下推進し共有を図ってきた。

問 福祉のこころづくりに対して町民は理解できているか。

答 町長 福祉に対する町民の正しい知識と理解が必要。学校・社会教育各種行事を通し概ね理解を得ている。



鈴木隆志議員

献上桃指定30周年に当たり 今後も生産維持に向け取組む

献上桃の生産維持と消費者獲得に向けた取り組みについて、次の点伺う。

問 肥料高騰及び病害虫駆除に対する助成が必要では。

答 町長 現在、国で肥料高騰対策補助事業を実施、今後の推移を注視していく。病害虫対策の助成は、本年も実施していく。

問 献上桃の郷、六次化商品「至福の桃」の販路開拓に向けてのPRは。

答 町長 献上桃の郷商品登録を契機に、ブランド化を図り、PRに努めてきたが、今後も、PRに努めていく。

問 町職員による果樹農家支援の取り組み「カジュワーク職員制度」の考えは。

答 町長 町長の許可により対応可能となることから、「カジュワーク」については、業務の内容や職員の意向を踏まえ、実現性について研究していく。



今年も美味しい桃、楽しみにしています

地域おこし協力隊の就農支援は 桃農家独立を目標に支援していく

問 研修先が伊達崎地区に集中しているが。

答 町長 桃生産地が、伊達崎地区に集中している。他地区への検討も必要と考える。

問 農業所得安定に向け、桃以外の農産物栽培が必要では。

答 町長 桃農家での独立就農を目標にしているが、今後検討が必要と考える。

問 町の支援が、定着に向けての鍵になるのでは。

答 町長 誰一人残すことなく、就農可能となるよう丁寧に対応していく。

問 定住に向け、献上桃栽培研修活動の情報発信していく必要があるのでは。

答 町長 定住に向けての重要な要素の一つである。機会を捉え発信していく。

問 地域定着に向け、協力隊等移住者同士の交流会が必要では。

答 町長 地域定着に向け大変意義がある。本年も時期を捉え実施していく。

これも質問

- 問** 地域おこし協力隊新規就農サポート体制は
- 答** 優良農地・中古農機具、空家等の情報を提供
- 問** 認定こども園開園に向けての資金計画確認は
- 答** 昨今の物価高騰における影響を改めて確認する
- 問** 認定こども園設置認可前の入園募集問題ないか
- 答** 設置認可前の入園募集は可能となっている



岡本貴士議員

東北電25.47%値上げ、町独自支援を 国の交付金を活用していく

問 6月から家庭向け電気料金が25.47%値上げされる。一方、国の支援（電気・ガス料金2割程度の値引き）は9月分で終了予定である。各市町村では、6月1日より町民支援を行うと報道されている。電気代を抑える省エネ家電の購入費補助（最大3万円）や、事業主支援金支給（最大50万円）などである。本町では、どのような取り組みを行うものかについて伺う。

答 町長 支援については、国による低所得世帯並びに子育て世帯への特別給付金に加え、現在、プレミアム商品券発行事業や福祉施設等への光熱費負担軽減事業に取り組んでいる。今後とも、国の交付金を活用しながら、他自治体の事例等も参考に支援策を講じていく。

電気代 どれほど 上がりましたか？



9割以上が昨年より
上がったと回答

2倍以上
という場合も!

猛暑で夏の電気代が心配



羽根田 ひとみ 議員

地域防災力とコミュニティ回復は 自主的防災訓練実施に協力する

問 今年度の防災訓練は睦合地区であるが、他住民自治協議会や町内会が自主的にコミュニティ回復のため炊き出し訓練などを行った場合、どのような補助・支援があるのか。

答 町長 備蓄している食料提供や、講師派遣など協力する。

問 防災士・防災ボランティアの登録者の状況は把握しているのか。これらのメンバーの連携組織化が必要ではないか。また、防災ボランティアは保険料が自費だ。負担してはどうか。

答 町長 防災士41名・防災ボランティア7名。今後人材確保に努めると同時に、フォローアップと体制構築について研究する。保険料は、検討する。



心やさしいボランティア

可燃ごみ軽減システム見直しを 見直しを進める

問 SDGsの取り組みで、ゴミの分別化が重要であること認識度は高い。町民の意識も大事であるが、そもそも回収のシステムを見直しすべきではないか。衛生処理センターのごみは近々いっぱいになる。早急の対策が必要だ。本町の可燃ごみ回収は週3回。他市町村は週2回の回収が一般

的である。本町も可燃ごみの回収を週2回にしてはどうか。その分再生できる雑紙・古布回収を加え、また、可燃ごみ袋5ℓや10ℓがあれば可燃ごみが軽減されると考えるがどうか。
答 町長 可燃ごみの45%が紙である。回収システムの見直しを進める。

これも質問

問 中学部活動の地域移行計画は

答 令和8年度から環境が整った部から実施する

問 壊される3か所の公衆トイレ。その後は

答 新しく作る予定はない

問 ドッグラン実証実験結果は

答 少なかった。町での運営はしない

町内会運営に対する行政の係わりは 行政連絡員の負担軽減を図る

問 町内会の運営は町内会独自の運営がなされており、行政が運営に関わることはないと思う。しかし、コロナ禍後の地域等(市街地と農村地区)状況に合わせた町内会の運営、行政連絡員のあり方も含め検討していくべきでは。例えば、以前は町からの資料等は回覧等での運用もあったが、DXの推進等も含め地域住民の意見も聞きながら検討する必要があるのでは。

答 町長 就労形態の変化や高齢化の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、一部地域において担い手の確保に苦慮している。昨年購入した丁合機導入により行政連絡員の負担軽減を図ることはもとより、DXやSDGs推進の観点から広報こおり等の配布方法についても検討する。



佐藤 武朗 議員

西山城跡の今後の整備・維持管理は 「桑折西山城を守る会」と連携

問 「全国山城サミット桑折大会」に引き続き、昨年の「城攻めウォークKORIKO RI2022」が開催された。その後も県内外から多くの見学者がお越しになり、本丸からの眺望に大変感激されており、交流人口の拡大に繋がる本町の一つの拠点でもある。維持管理の草刈りに関しては、専属の草刈りの組織を立ち上げ一定の環境を維持する必要がある。また、周辺整備につい

て、登城口からの登った位置にトイレを併設した建物の整備が必要と考えるが所見は。
答 町長 草刈に関しては、守る会の中で組織立ち上げの議論をしていただくか、新たな団体で取り組んでいただければ町としても補助は出していきたい。また、登城口から登った私有地の活用についても前向きに調査研究をしていく。



恒久的な景観維持を

これも質問

問 「ビーチリパーク157」の周辺の管理運営は

答 「桑折かわまち協議会」が管理を担っている

問 福島蚕糸跡地の開業・開園にむけての進捗状況は

答 商業施設は予定通り、こども園は遅れる



齋藤松夫議員

コンプライアンス条例制定 地方公務員法第32条で対処

問 本町は「上司の命令に従う」ことが優先する一方で、「法令・条例・規則・規程に基づき...」の部分がおろそかにされているのではないかと。こうした観点からネット検索をすると多くの自治体で「コンプライアンス条例」を制定し、法令遵守に務めていることが分かる。こうした事例に学び、本町においても同様の条例を制定すべきことを提言する。所見はどうか。また地公法第32条や刑法第239条についての職員研修は行われているか。

答 町長 地公法第32条で法令遵守が謳われており、同条例制定は考えていない。職員研修で地公法は行っているが、刑法は研修に含まれていない。

地方公務員法
(法令及び上司の職務上の命令に従う義務)
第三十二条 職員は、その職務を遂行するに当つて、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。

条例制定でコンプライアンス遵守を

計画見直しを知っての企画提案が 事業者が承知してはならない

問 このたび見直しした「桑折町第2期子ども子育て支援事業計画」についての議会への説明(5月11日議会全員協議会)で、「計画の見直しをしなければ認定こども園の開設認可を得ることは難しい」との答弁であった。であれば令和3年のプロポーザル公募における事業者選定で、認定こども園事業者を選んだことは、

答 町長 計画の中間見直しは、昨年7月の「子ども子育て会議」で決定されたので、令和3年の企画提案時点で、事業者が承知することはありませぬ。

県の認可可能な企画提案事業者を選んだことになるのではないかと。それとも事業者は、この時点から町計画が見直しされることを知っていたら応募したのか。

これも質問

問 非核平和の町宣言具現化を
答 平和学習派遣事業を推進

問 廃棄物処理費負担の根拠は
答 顧問弁護士の指導受け判断

女性の意思決定過程への参画は 研修等で女性リーダー育成を図る

問 男女共同参画の推進については、行政や各委員会、団体等での女性人材の登用が遅れていると考えるが、今後の取組について伺う。

答 町長 行政委員会等における女性人材の育成と参画については、男女共同参画プランを踏まえ、積極的に登用に努めているが、推薦団体の役員が男性に偏っていることから、進んでいる現状にある。今後は各団体における役員等へ女性登用をお願いするとともに、県男女共生センターと連携し、研修や交流を通して意思決定過程への参画を含め、女性リーダーの育成支援に努める。



石幡政子議員

小規模化による学校教育のあり方は 環境を整え学校生活を充実させる

問 少子化が進む中、睦合小学校にあっては複式学級となった学年がある。本町の学校教育現場では初めてのケースである。子ども達への充実した学校生活の支援について伺う。

答 教育長 少子高齢化社会が進む中、今年度、睦合小学校において、本町で初めて2学年・3学年の複式学級を編成することとなった。学習面においては、県教育委員会配置の非常勤講師の活用により学年別のきめ細かな授業を行っている。生活面では上級生が下級生の面倒をみるなど関わりをいかしながら学校生活を充実させるよう努めている。今後の小・中学校のありかたについては、5月に教育委員会事務局と各校長で調査研究会を立ち上げた。今年度は現状・課題や将来の方向性等について、情報の収集と整理を行っていく予定である。



複式学級となった睦合小学校

これも質問

問 アフターコロナのまちづくりは
答 停滞した地域コミュニティの再生を図る

問 町施設での再生可能エネルギー導入は
答 イコーゼに太陽光パネル導入を検討している



半澤 高議員

旧郡役所南側の未取得地は 取得に向け交渉中である



来訪者の利便性を考えて…

旧郡役所周辺の開発・整備について現状を伺う。

問 旧郡役所南側の土地（主に南東側）を取得したが、来訪者の車の通行を考えると一方通行にでもしない限り不便である。今後、来訪者の利便性確保のために旧郡役所の南側の未取得の土地を購入する考えはあるか。

答 町長 旧郡役所南側未取得地については「桑折町都市再生整備計画（第2期）策定委員会」において、取得を前提に今後議論を進めるべきとの意見をいただいたことから、町としては、取得に向け所有者と交渉を進めている。

問 建設予定の施設について協議の進捗状況は。

答 町長 「桑折町都市再生整備計画（第2期）策定委員会」において、歴史と文化を尊重し、情報発信や地域づくり機能を併せ持つ拠点施設となるよう検討が進められている。

部活動地域移行の議論は

令和8年度以降に実施する方針

問 部活動の地域移行について議論はどこまで進んでいるのか伺う。

答 教育長 行政・地域団体・学校・保護者代表等で構成する「桑折町部活動地域移行関係者協議会」を今年2月に設置した。現在までに、まずは休日から段階的に移行させるため、令和6・7年度に地域人材を「部活指導員」として配置する

とともに、令和8年度以降、条件・環境が整った部から「地域クラブ活動」として実施する方針である。

問 町内の指導者の他に福島大学等の学生にも指導者を依頼してはどうか。

答 教育長 技術面や生徒の人格形成や健康・安全への配慮等も含めた適切な指導力が求められるので学生への依頼も検討したい。

これも質問

問 町役場に「書かない窓口」を導入しては

答 デメリット等を考慮し、慎重に検討する

住民自治協議会の実績と今後は

各地区の実情や特色を尊重する

問 現在、各地区にある住民自治協議会のこれまでの実績及び効果と今後の方向性をどのように考えているのか伺う。

答 町長 地域の住民相互の交流と親睦を図り、共通の利益の増進、生活環境の保持改善を目的として、平成21年度に設立以来、各地域において、自主防災活動や地域の環境整備活動を行

うなど、一定の成果はあったものの、就労形態の変化や高齢化の進行、さらには新型コロナウイルス感染症等の影響により活動が停滞している現状にある。今後については、各地域の実情や特色を尊重し、停滞した地域コミュニティの復活と再構築に向け、地元の皆さんと連携していく。



原 賢志議員

種徳美術館収蔵品の保管と活用は 公共施設での展示を実施



解体予定の種徳美術館

問 種徳美術館収蔵品の保管並びに今後の展示、活用をどのように行っていくのか伺う。

答 教育長 保存上最も重要な遮光や湿度管理が可能

な旧桑島分庁舎への仮保管や、県立美術館への3点の保管依頼について検討している。展示・活用については、今後、公共施設での展示を実施していく。

これも質問

問 商業施設及び認定こども園の進捗状況は

答 商業施設は予定通り。こども園は事務凍結

委員会活動報告

総務文教

常任委員会

委員長 齋藤松夫

3/1、3/4/6、25
5/2、16、23

2件の調査案件の結果は9月定例会で報告

閉会中5回の委員会を開催、調査事項の「子ども子育て支援事業のあり方については、2回の委員会協議を経て「見直し第2期子ども子育て支援事業計画」の調査を中心にすることを確認、「SDGs宣言の具現化」については、「桑折町地域まるごと省エネ計画」と「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」について調査し、意見交換を行った。
調査結果報告は9月定例会で行う。
継続審査としていた陳情第3号「庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情」の審査は、5月23日、総務課長に陳情書で指

摘されているような事案の有無について質疑を行った。今後は思想信条の自由との関係で調査するため、引き続き継続審査とした。

産業厚生

常任委員会

委員長 佐藤榮三

3/3 4/6

本町のネウボラ事業の評価と課題を調査

本委員会はネウボラの取組について、人口動態、保健所、市町村統計において本町(1.38)より合計特殊出生率の高い山形県高島町(1.52)同朝日町(1.49)の取組について視察調査を行い本町の取組も同等以上の評価がみとめられたことから今定例会において、今後の積極的取組を期待して報告とした。
今後の取組としては、地域産業の維持、発展のため、地元企業の人員確保と物価上昇対策について、町商工会や担当課等との協議を行

い、実情を把握し改善策を検討し調査取りまとめしていく予定である。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

3/1、23 4/4、19、20
5/9、18 6/5、8

一般質問新方式を模索6月定例会で試行

「一般質問のあり方について」調査を継続中。ネットを利用して、視聴している方々が途中からでもわかりやすい方法として「項目ごとに質問し、項目ごとに答弁をもらう」方式をとり、今回6月定例会にて試行として実施した。
『項目』の捉え方に各議員の認識の違いがあり(大項目と捉えるのかその下の(1)、(2)、(3)などの小項目と捉えるのか)会議規則の改正の際に議論があったが、議員によって選択する方式により今回一般質問を進めた。
なお、今回の試行を総括・検証し、協議を重ねてよりわかりやすい一般質問にしていきたい。

調査報告

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤榮三

- 1 調査事件
ネウボラ(子育て世代包括支援)について
- 2 調査目的
妊娠前から就学前にかけての子育てを切れ目なく支援するため
- 3 調査の経過 省略
- 4 調査結果

本町における取組も、町と同等の取組が行われ成果を上げているものと評価する。今後においても、先進事例等を参考にするとともに子育てしている親同士、妊婦同士が情報交換できる機会等を設けていけるよう関係機関との一層の連携と令和4年4月より不妊治療について、保険適用されたことから、望む人誰もが、子どもを産み育てやすい社会の実現に向けた積極的な取組を望む。



高島町の取組の特長として、妊婦の全数に支援プランを策定し、細やかな支援を実施し、参加者・相談数が増加したことが高く評価されている。また朝日町の取組の特長として、妊婦の全数をケースカンファレンスで共有し、ハイリスク妊産婦に対する助産師との同行訪問等の支援体制強化が高く評価されている。

議会議員の派遣

町村議会広報研修会

・令和5年6月27日
・とうほう・みんなの文化センター

目的
・議会広報紙の編集技術の向上と紙面内容の更なる充実に資する

新人議員研修会

・令和5年7月10日
・杉妻会館

目的
・令和5年度新人議員研修会
第18回伊達郡議会議員大会
・令和5年7月21日
・イコーゼ
・議員全員

目的
・郡内町議会の議員が一堂に会し、議員大会を通して町村自治の確立と議会機能の高揚を図り、活発な議会活動の推進に資する

町村議会広報研修会



町村 金井茂樹氏
県町村議会議員
会主催の
広報研修
会が6月27日開催された。

初めに講師である一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏より「伝わる議会報の企画と編集」と題し講演を頂いた。読もうと頑張らないと読めない「議会だより」では読むのを諦めてしまう。「議会だよりは難しい」のイ

広報広聴常任委員会

委員長 川名静子

議会の様子がわかります
本委員会広聴関係の事業として、令和5年度の「議会モニター」が決定し8名の方々に委嘱状を交付した。再任の方に加え若い層の方たちが増えた。その目に議会はどうか映っていたのか、どんな意見が出てくるのか今からワクワクしている。

また、コロナ感染症防止から中止をしていた「議会報告・意見交換会」を「議会モニター」会議の後に、

5年度の予算、新規事業の報告に続き意見交換会に移った。各地区での課題、若い層が参加できる工夫等々多くのご意見を頂いた。改善点やご意見に対する回答、内容は本号のP22、23をご覧ください。

お知らせ

次回定例会は「議会議員改選」のため、9月定例会(決算)は8月29日からになります。

政務活動費報告(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

No.	議員氏名	交付額(円)	支出内容	備考
1	羽根田 ひとみ	4,860	会議費、資料購入費	○調査研究費 議員が行う町の事務及び地方行政に関する調査研究に要する交通費、宿泊費等
2	石 幡 政 子	0		○研修費 団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に要する会費、交通費、宿泊費等
3	岡 本 貴 士	60,000	広報費	○会議費 議員が行う町政に関する住民の要望、意見を聴取するための各種会議に要する会場費、機材借上費、交通費、資料印刷費等
4	鈴木 隆 志	47,568	研修費、資料購入費、広報費、事務費	○資料購入費 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する書籍購入代、新聞雑誌購読料等
5	齋 藤 松 夫	60,000	資料購入費、事務費	○広報費 議員が行う議会活動及び町政に関する政策等の広報活動に要する広報誌・報告書等印刷費、送料、交通費等
6	欠 番			○事務費 議員が行う調査研究に係る事務遂行に必要な事務用品費、通信費、使用料、賃借料等
7	佐 藤 武 朗	18,350	調査研究費	
8	佐 藤 榮 三	0		
9	川 名 静 子	51,450	研修費、資料作成費、資料購入費、事務費	
10	半 澤 高	49,630	研修費	
11	原 賢 志	32,119	資料購入費、広報費	
12	片 平 秀 雄	56,696	資料購入費、広報費、事務費	
元町議	岩 崎 久 男	0		
元町議	齊 藤 謙	30,000	広報費	
合 計		410,673		

令和5年度 第1回桑折町議会報告・意見交換会

日時 令和5年4月29日(土)午後7時～9時
会場 イコーゼ 多目的スタジオ



「議会報告・意見交換会」時にアンケート等で頂いたご質問にお答えします。

議会報告・意見交換会、参加者について

問 意見交換会の参加者は約40名、30～40代が4名くらい、他は60～70代の高齢者で、他の年齢層を集める必要がある。また、午後7時からの開催は遅すぎるのでは。

答 特に若い世代の方の参加を促す周知方法について検討していきます。開催時間についても今後検討していきます。

議会報告・意見交換会の開催進行について

問 意見交換を主に時間を長めに取った方が良いのではないかと。前段の議会報告をもっと簡略化して欲しい。多くの方の意見を聴くためにも、1人1つか2つの質問としてはどうか。

答 議会報告は行うこととなっているので、所要時間の配分を検討します。尚、意見を聴く方法についても併せて検討していきます。

陳情について

問 町内から出される陳情について、陳情者が議会場で意見を直接言える機会をつくって欲しい。

答 陳情内容を精査してうえで、積極的に参考人制度を利用することで、意見を聴く機会を設けたいと考えております。

都市計画法34条について

問 進展状況は。

答 4月22日に34条11号の説明会が行われた。

町民の声

「議会傍聴」から
 ・1～2回傍聴したことがある 1名
 ・3回以上傍聴したことがある 1名
 ・傍聴して気づいた点
 ・答弁が遅くて色々な職員に回答を譲っていたのでわからない所があった。(40代女性)

「議会だより」アンケートから
 ・毎回読む 4名
 ・目にした時に読む 7名
 「議会だより」を読んで気づいた点・要望など
 ・本町に住みたい町を目指し議員活動をしているか
 ・他の町ではない我町のポリシーを発揮し住みよくなることを明確にしたい(70代男性)
 ・自分に興味する内容には関心があり読むが、その他はあまり読まなかった(60代女性)
 ・これはあまり読まなかった(60代女性)
 ・今までは興味がないので、最初と最後のページしか見ていなかった。しかし、町の内容など知ることができ、読んでみたい。(60代女性)

議会報告・意見交換会の開催日程について

問 子育て中の人も参加できるよう幼稚園に行っている時間とか、夜の時間であれば託児所を考えるなど配慮してほしい。

答 これから年代別・テーマ別も考え設定していく。

問 昨年は、町内4カ所で議会報告・意見交換会開催したが、今回1カ所での開催とした理由は。

答 今回は農作業など忙しい時期だったので1カ所とした。秋は、各地区4カ所で開催する予定としている。

蚕糸跡地アスベスト除去費用について

問 町が半分負担すると聞いたが。

答 弁護士を通して話し合いが行われたと聞いている。

認定こども園について

問 半年経っても事業者の説明会がない。町外からの問い合わせは。

答 説明会についてはご意見として承る。町外からの問い合わせについて、改めて調べた結果、ありませんでした。

郡役所裏の土地及びインターチェンジ周辺の開発について

問 今後どのように開発するのか。

答 これから検討していく。

議会(定例会)開催日程表の配付について

問 町の回覧日に合わせられないのか。

答 6月定例会の日程表は、回覧日に間に合うようにする。
できるだけ、第1・3水曜日に合わせるようにする。
合わせられないとき、新聞折込など検討している。

伊達崎橋下河原及び伊達崎橋の整備について

問 今後どのように整備していくのか。

答 橋梁下の河川敷はピーチリパーク157同様、国交省で整備していく。

問 ピーチリパーク157のトイレの利用時期はいつからか。

答 伊達崎配水機場トイレは6月から使用可能です。桃の郷トイレは常に使用可。

除雪ボランティアについて

問 何名いるのか。状況はどうか。今後どのようにするのか。

答 現在110名が登録されています。今年度は融雪剤の散布などお願いしました。今後も増員していく予定とのことです。

半田山の自然再生エネルギーについて

問 どの程度進んでいるのか。

答 町から説明を受けていない。

活動状況	対象者
議会定例会・臨時会	
3月1日～3月17日 令和5年第1回議会定例会 4月19日 令和5年第2回議会臨時会	全議員 //
議会報告・意見交換会	
4月29日	全議員
議会全員協議会	
3月1日～3月17日 3月23日 4月6日 4月19日 4月27日 5月11日 5月26日	全議員
例月出納検査	
3月24日 4月25日 5月25日	監査委員
伊達地方消防組合議会	
3月27日 伊達地方消防組合議会全員協議会 // 令和5年度第1回伊達地方消防組合議会定例会 5月16日 伊達地方消防組合議会全員協議会 // 令和5年度第2回伊達地方消防組合議会臨時会	選出委員 // // //
公立藤田病院議会	
3月30日 公立藤田病院議会全員協議会 // 令和5年度第1回公立藤田病院議会定例会	選出委員 //
伊達地方衛生処理組合議会	
3月28日 伊達地方衛生処理組合議会全員協議会 // 令和5年度第1回伊達地方衛生処理組合議会定例会	選出委員 //
福島県町村議会議長会	
5月8日 福島県町村議会議長会正副議長会議 // 福島県町村議会議長会理事・監査合同会議 5月30日 福島県町村議会議長会定期総会 6月5日 福島県町村議会議長会正副議長会議 // 福島県町村議会議長会理事・監査合同会議 // 令和5年度福島県町村議会議長定期総会	議長 // // // //
伊達郡町村議会議長会	
3月27日 伊達郡町村議会議長会議(合同会議) 4月19日 伊達郡町村議会議長会議(合同会議) 5月29日 伊達郡町村議会議長会議(合同会議)	正副議長 // //
その他行事	
3月6日 「こおりウインターフォトコンテスト2022」審査会・SDGs推進作品コンクール表彰式 3月19日 令和4年度銀栗町内会総会 3月22日 山形県朝日町視察来庁 3月24日 桑折町交通安全対策協議会 4月1日 令和4年度第4回議会モニター会議 4月4日 福島県後期高齢者医療広域連合会事務局長来庁 // 福島北警察署長・桑折分庁舎所長来庁 4月14日 桑折町消防団新旧役員歓送迎会 4月15日 桑折西山城まつり～城攻めウォークKOORI2022 4月16日 献上桃の郷元気ウォーク 4月17日 坂町観音春季祭礼 4月22日 桑折町農業振興活動拠点施設レジャーレこおり5周年記念式典 // 令和5年度桑折町商工会青年部第57回通常部員総会 4月24日 福島圏域議会議長連携推進協議会 令和5年度第1回会議 4月26日 議会OB会総会 4月29日 令和5年度第1回議会モニター会議 5月10日 楽天イーグルス冠協賛試合「献上桃の郷 桑折デー」 5月14日 半田山山開き 5月17日 令和5年度桑折町老人クラブ連合会総会 5月20日 令和5年度桑折町内小学校運動会 5月21日 桑折町手をつなぐ親の会・桑折町共に生きる社会を創る会総会 5月23日 令和5年度町村議会議長・副議長研修会 5月24日 桑折町商工会第64回通常総会 5月26日 株式会社ふるさとエール定期総会 5月31日 桑折町管工事組合第26回通常総会 6月9日 桑折町地域農業再生協議会総会 6月11日 第74回福島県消防協会伊達支部幹部大会 // 中央消防署西分署・警察署・桑折町消防団合同懇親会	議長 // 正副議長 外長 議長・選出委員 長 // // 正副議長 他長 // // 議長・選出委員 長外長 正副議長 長外長 議長 副議長 長 // // 議長 産厚委員長 議長 //

詳しくは、こちらから



一部事務組合議会報告

一部事務組合への令和5年度負担金予算額と前年度対比表

単位：千円
小数第2位
四捨五入

区分	内訳	R5年度予算額	R4年度予算額	増減額	増減率
伊達地方衛生処理組合	一般会計	6,759	7,014	▲255	▲3.6
	し尿処理	30,050	29,403	647	2.2
	ごみ処理	53,389	45,004	8,385	18.6
	計	90,198	81,421	8,777	10.8
公立藤田病院組合	特別交付税	28,290	28,485	▲195	▲0.7
	一般会計	30,000	30,000	0	-
	計	58,290	58,485	▲195	▲0.3
伊達地方消防組合	一般会計	248,621	222,270	26,351	11.9
合計		397,109	362,176	34,933	9.6

◆一部事務組合とは 行政の能率化、効率化を図るため、特典の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

伊達地方衛生処理組合

選出議員
鈴木 隆志

ごみ焼却施設更新説明受ける

令和5年3月28日開催の定例会では、条例制定2件、各会計の補正予算3件、令和5年度の当初予算3件が提出され、それぞれ全会一致にて可決した。
なお、6月20日「ごみ処理監視委員会」で令和4年度のごみ処理実績、令和5年度ごみ処理計画、ダイオキシン及び環境放射能測定結果等について報告があったほか、ごみ焼却施設の更新について説明があった。

公立藤田病院組合

選出議員
齋藤 松夫
原 賢三
藤 榮志

黒字決算の見込み

条例改正、条例制定、令和4年度補正予算、令和5年度予算、監査委員の選任が提出され全ての議案を全会一致で可決・承認した。令和4年度は、整形外科に膝の専門医が2名赴任したことによる手術件数の増加等により、黒字決算となる見込み。令和5年度は、新たに内科医師2名、整形外科医師1名、初期研修医6名勤務。

伊達地方消防組合

選出議員
川名 静子
佐藤 武朗

西分署庁舎来春完成予定

令和5年度の主な事業の歳出は、西分署庁舎改築工事費5億6,809万7千円、南分署移転新築工事設計等業務委託料6,803万円、12誘導心電図伝送システム(救急車5台分)等で5年度予算総額は23億2,940万円の計上。また、地方公務員法の一部を改正する法律及びデジタル社会の形成を図るための法律等による条例改正の11件と議会提出条例1件が可決した。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員
片平 秀雄

水道水安定供給堅持

2月21日令和5年2月定例会が開催され、補正予算、当初予算、条例制定3件及び条例改正1件が提出され、原案のとおり可決した。
業務予定量
令和5年度は、年間総給水量を3,808万9,581立方メートル(前年比36万7,969立方メートル減)、1日平均給水量10万4,070立方メートル(前年比1,293立方メートル減)と見込んでいる。



伊藤和磨モニター

町政に関心があり、私たちの町がどのような議論で作られ、どのように変えていく事が出来るのか勉強させて頂きたく応募致しました。子育て世代の代表として、意見や質問をぶつけていきたいと思ひます。



川村滋道モニター

議会モニター5期に応募し委嘱されました。議会モニターは議会を傍聴し、町民の要望と議員の働き、チェック機能が働いているか、直に直言できる役割があります。その役割を十分果たしたいと思ひます。



佐藤 篤モニター

今年65歳を迎え、約40年の会社勤めが終わります。これからの新しいスタートにあたり、様々な視点が自分に必要と考えました。さらに、一町民として議会全般を勉強して意見をまとめたいと思ひます。



佐藤未来モニター

最近になって政治に興味を持つようになりました。右も左もわからない状態です。議会モニターを通して少しずつ理解を深め政治の知識を持った上で選挙などに参加できたらと思ひ応募しました。



穴戸 守モニター

議会モニターは3年目になります。町議会でも町政に町民の意向や意見がどのように反映されるのか。特に一般質問での議員の質問と町長(行政)の答弁に関心があり、議会傍聴を続けたいと思ひ応募しました。



丸山八重子モニター

桑折生まれの桑折育ちですが議会傍聴はありません。今回、議会モニターをさせて頂く事になり、私たちの暮らしに直結する行政のチェック機能がどのように果たされているのか…を見る機会を得て、学ばせて頂きたいと思ひます。



八木沼康弘モニター

初めての議会モニターということで、これまで自分にとり議会は遠い存在でした。が、この機会に自分の目で見て聞いて感じたことを今後の町議会運営に役立てられるよう頑張りたくと思ひます。一年間宜しくお願ひします。



山川多美子モニター

前年度に引き続き議会モニターを引き受けました。今までわが町桑折町のことを身近に感じられませんでした。が、昨年議会モニターを通して町政に少しですが関心を持ち、関わられた経験を今年度に繋げたいと思ひます。

(50音順・敬称略)

編集後記

梅雨明け間近の猛暑の日々。つい「暑い」と口にしてしまう憂うつも、我が町には待ちに待った季節、桃の収穫時期の到来です。

桃といえば、春を告げる可憐なピンクの花は女性のシンボルと言われ、花言葉は「気立ての良さ」「天下無敵」だそうです。古来から女性パワーは比類なき素質だったのでしょか。原産地の中国では、桃の実は不老長寿と邪気を祓う神聖な力があると信じられてきました。「桃源郷」に住む私達はその桃を存分に食して、猛暑の夏を乗り切りたいですね。

編集委員が替わりしました。夏号・秋号から原賢志議員、石幡政子議員が編集委員になりました。よろしくお願ひします。

委員長 川名 静子 委員 原 賢志
副委員長 鈴木 隆志 委員 石幡 政子

まちの歳時記

～最盛期を迎えた桃の出荷～
-伊達果実選果場-



議会だより

令和5年7月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片平 秀雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024)582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<http://www.town.koori.fukushima.jp>